

広告

離島ならではの悩みも整備工場にお任せ



▲さび止めの塗装をすれば安心!
▲潮風でさびてしまった部品

車は、乗っているうちに車体や部品がどうしても傷んでしまう。だから、安全に長く乗り続けるためには定期的な点検と修理が必要なんだ。そんなときに助けてくれるのが、自動車整備士さんたち! 宮崎自動車整備工場のスタッフさんは、みんな笑顔でお客様を出迎えていたり。車がさびてしまいやすいんだ。

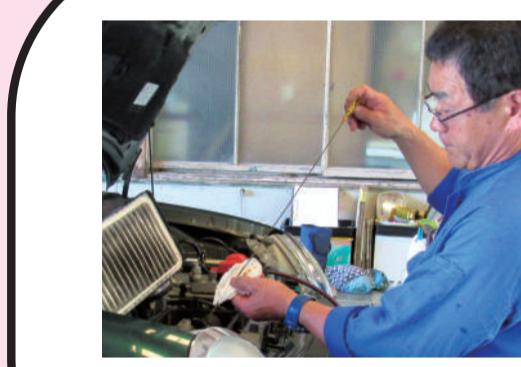


いまあるものを大切に使えば、地球にもお財布にも優しいんだね!

お訪ねした会社

社名: 有限会社 宮崎自動車整備工場
住所: 長崎県南松浦郡

定期点検から修理まで、車に関する幅広い悩みを解決してくれる整備工場。スタッフの皆さんといつも笑顔で親切だから、住民の方々のいこいの場にもなっているよ。



次回は
中古車の
オークション編!

今回のまとめ

整備工場は「車のお医者さん」。日本全国の工場では、自動車整備士さんが車に乗る人たちを大切に思ってメンテナンスをしてくれているんだね。また、一台の車を長く安全に乗ることは、地球環境を保護するためにも大切なんだ。

「クルマのリサイクル」について学んだことを
標語・ポスターにして
応募してみよう!!



クルマのリサイクル作品コンクール

応募締切り 2023年2月28日(必着)



公益財団法人自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

詳しくはちらから

クルマのリサイクル

検索



大切な自動車をずっと安全に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

クルマのリサイクルの流れ

金属類は原材料にもどしてさまざまな製品に使われます。残ったショッパータスト(プラスチックやゴムなど)は、ユーザーが支払ったりサイクル料金を使ってさらに原材料にもどしたり、熟練として再利用されます。

天然資源の使用を少なくしたり、リサイクルのしやすさを意識した車がつくられています。

- 車を買うとき、リサイクル料金を支払います。
- 車のほとんどをリサイクル!
- ユーザーは愛車を長く大切に乗るために整備したり、中古車として乗り継ぎます。修理のときは、リサイクル部品を使うようにします。
- ユーザーが支払ったリサイクル料金を使って、フロン類は回収して無害化されエアバッグ類は取りはずして処理されます。
- まだ使える部品は、取りはずして中古部品として流通されます。
- ユーザーは使わなくなった車を引取業者に引きわたします。
- 残った車体などはショッパータスト機で破碎します。

「自動車はどうやってリサイクルされているの?」という疑問を解決するためにさまざまの問題を解決するためには、さまざまなクルマのリサイクルの現場を訪ねるなりサイクルの現場を訪ねる車整備工場」にやつてきたよ!

今回訪れた「宮崎自動車整備工場」さんは、長崎県の西側に位置する五島列島の中通島にあります。島に住む人たちが日々安心して車に乗れるように、スタッフの方々が一生懸命に整備をしていましたよ。

車を長く安全に使うためにはどうしたらいいのか? 答えは「整備工場で定期的に点検を受け、必要な整備を行っておけば、故障や事故の可能性を減らせるからね。

車を長く安全に使うためにはどうしたらいいのか? 答えは「整備工場で定期的に点検を受け、必要な整備を行っておけば、故障や事故の可能性を減らせるからね。

機械とプロの目で隅々までチェック

ステップ2

車の診断方法

最近の車は、コンピューターで詳しく検査できるって知ってる? この日も車にノートパソコンを接続して、専用のソフトウェアでチェックすること。「車の内部で異常が起きていなければ、そして異常が起きない車を扱うときの心構えについて、自動車整備士さんは「車を人だと見つけて点検すれば、検査や修理が丁寧になります」と言っていたよ。



ユーザーにとってのメリットも大きい!

ステップ3

リサイクル部品「地球とお財布に優しい!」

最近の車は、コンピューターで詳しく検査できるって知ってる? この日も車にノートパソコンを接続して、専用のソフトウェアでチェックすること。「車の内部で異常が起きていなければ、そして異常が起きない車を扱うときの心構えについて、自動車整備士さんは「車を人だと見つけて点検すれば、検査や修理が丁寧になります」と言っていたよ。



見て
聞いて
学ぼう!

地球のために! 未来のために!

クルマのリサイクル

整備編
vol.4